

一般質問

市民クラブ

長崎ペーロン選手権大会の
今後の開催計画

問 長崎港へのクルーズ客船の寄港増加に伴い、来年度以降の開催を危惧する声も聞こえるが、今後の開催のあり方について伺いたい。

答 長崎港は、日本有数のクルーズ客船の寄港地となっており、寄港増加に伴い、大会の会場である長崎港の利用予約は困難な状況となってきた。

今年度については、長崎ペーロン選手権大会実行委員会から、長崎港を所管する県の長崎港湾漁港事務所に対して要望し、調整の結果、7月30日と31日に開催することが決定している。

来年度以降についても、7月の最終土曜日と日曜日に開催できるように調整しているところであり、今後とも、円滑に開催できるように努めていく。

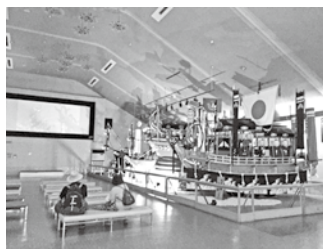


▲夏の風物詩ペーロン

諏訪の森における文化施設の整備

問 現在、グラバー園にある長崎伝統芸能館は、「くunchi資料館」として諏訪の森にあってこそ価値があると考ええる。現在の県立図書館の場所に県が設置を予定している郷土資料センターに併設する考えはないのか。

答 郷土資料センターについては、既に、県において整備基本計画が策定されており、市として「くunchi資料館」の設置を検討するのであれば、そのあり方を整理する必要がある。



▲長崎伝統芸能館内

「くunchi資料館」の設置については、長崎くんち振興懇話会での協議の中で、中長期的な課題とされており、まずは、文化観光部において、懇話会等の関係機関と協議を進めながら検討する必要があると考えている。

長崎さるく10周年の見直し

問 今年、内容が大きく見直されたが、参加料は引き上げられ、集合場所はわかりにくい場所へ変更されるなど、魅力を上させざるものとなっていないのではないか。

答 参加料については、立ち寄り箇所

や長崎名物のお土産の特典を追加するなど、参加者の満足度を向上させるとともに、地元商店や企業の活性化につながるよう見直しを行った。また、出島集合としていた通さるく4コースの集合場所については、各コースのスタート地点の近くに集合する方が自然であることから、現地集合とし、現地への行き方は、ホームページや電話予約の際に案内を行っている。

今回の見直しについては、参加者やガイドから意見を伺い、十分に検証し、必要があれば改善していきたい。

公共交通活性化によるまちづくり

問 人口減少、少子高齢化が進む中、公共交通の活性化によるまちづくりと、公共交通のあり方などを考える協議会設置の考え方について伺いたい。

答 高齢化により公共交通機関の果たす役割が重要になっている一方、人口減少により公共交通網の縮小やサービス水準の低下が懸念されている。

そのような中、まちづくりにおいては、都市機能が集積する拠点と周辺の生活地区を結ぶ公共交通機関を維持していく必要があると考えている。

また、公共交通のあり方について議論する時期に来ていると認識しており、まずは、交通事業者や利用者などで構成する協議の場を設置し、意見交換や情報交換を行いたい。

明政クラブ

長崎県亜熱帯植物園の閉園についての対応

問 閉園は、野母崎地域の振興や観光振興にとって大きな痛手であり、対応策として、部分的な開園や別地への移設などが考えられると思うが、市の考えを伺いたい。

答 県が表明した来年3月末閉園の方針に対し、残念に感じている。

知事は、今後のことについて、地域活性化に向けた市、地元との協議に参加するとともに、閉園後の防災対策について検討を進めると表明しているため、まずは県の意向を具体的に確認し、地元の意見を十分に踏まえた上で、県と協議をしていきたい。

また、その中で議員の提案も含め、閉園後の影響を少なくする活性化策が検討できないか、協議していきたい。



▲長崎県亜熱帯植物園